

2020年度 自己評価結果公表シート

認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園

1. 本園の教育目標

<教育目標>

本園は、「幼な子一人ひとりを尊重し、大切に育てる」というキリストの教えをもって、子どもの健やかな成長が図れるよう適切な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うことを目的とします。

<教育方針>

5つの教育の柱『①宗教教育 ②健康教育 ③個性教育 ④社会性・国際感覚の涵養 ⑤保護者との協力』を基本的教育方針として取り組んでいます。

2. 2020年度の評価項目

1. キリスト教主義教育・保育の実践
2. 教育・保育課程の見直し
3. 教育環境整備
4. 保護者との連携
5. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
1. キリスト教主義教育・保育の実践	・教職員は、毎朝の職員礼拝で共に祈り合う中から自らと向き合い「幼子をキリストへ」「神は愛である」というキリスト教主義教育の心を養い、日々の幼児教育・保育に取り組んでいる。
2. 教育・保育課程の見直し	・各保育年、月毎に一人ひとりの子どもの育ちや保育者の援助点等を考えて教育・保育計画を見直し、立案・更新した。 ・新型コロナウイルス感染症予防のため、状況を確認しつつ関係機関と連携をとり、保育内容や行事について再検討、再確認をしながら取り組んだ。
3. 教育環境整備	・コロナ対策の為、保健衛生用品の確保。 ・空気清浄機、加湿除湿付きエアコン等を設置するとともに、室内換気を実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ・机、椅子、遊具等身の回りの消毒の徹底。週末に行うアルコールによる拭取りの徹底。 ・保護者から指摘の多い駐車場について、降雨後に水がたまる場所に土入れ等の整備に気がつけた。車が通る際に小さな砂利が跳ねる等の課題が残る。
4. 保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、家庭訪問やP T A総会を中止とした。例年に比べ園の考えを伝えたり保護者の意見を直接聞く機会が減ることを踏まえて、送迎時の短い時間でも子どもの様子を伝えたり、保護者の思いを受け止めるように心がけた。 ・行事の取り組みについて、P T A役員の方々とその都度相談をして意見を出し合うことで、共に協力し合える関係性がより深まった。
5. 新型コロナウイルス感染症対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時の検温、手指消毒、マスク着用を園児も保護者も徹底してくださった。 ・マスク着用について、3歳以上は保育者が熱中症等の体調管理をしながら基本着用とし、外遊びや運動遊び中は外し、マスクの管理も自分でできるようマスク袋を用意した。 ・行事では、密を避け時間差で入館者の人数制限をしたり、人の動きに配慮し間隔を取ることを徹底した。 ・食事時間は全室にパーテーションを設置し、子どもたちになぜそうするのかを話し、静かに食べるように促している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2020年度は、スタートから新型コロナウイルス感染症対応に翻弄され、緊急事態宣言というこれまでに経験したことがない中で、保育内容や行事の変更がその都度必要となった。そのような状況でも、職員間で協議し合う時間を密にとり、園児にとって何が大切かを考え、保育内容を計画し実行した。また、特にP T A役員から保育内容や行事について意見を聞き、園の考えもお伝えして、何度も話し合い共通理解をもったことも緊急時においてもスムーズに運営できた要因だったと考えている。また、年度末に実施した保護者アンケートでは、「この園に入園させてよかった」の設問にA・B合わせて99.3%のご家庭の評価を頂き、教職員の質向上への意欲へとつながっている。また、少数意見にも耳を傾け、保護者やご家庭に対してより一層の対話を通し、子どもの育ちを伝えながら教育保育内容の理解を図る努力を続けていきたい。今後も保護者アンケート等で得た改善点を教職員間で共通理解をもって、きめ細やかな教育・保育を実践していくと共に、日々の取り組みを常に見直し確認し合っていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
キリスト教主義教育・保育について、保護者への理解につなげる	保護者に園児礼拝（チャペルタイム）や、キリスト教由来の行事に参加していただく機会を多くもち、園便り等で行事の意味を発信していくことを通して、具体的な内容の理解につなげていきたい。
保護者との連携	今年度も引き続き保護者と連携して、新型コロナウイルス予防対策を徹底していく。園内でクラスター発生を防ぐように家庭でも気をつけていただく。 家庭で過ごす子どもに対する教育支援や保護者支援を考えていく。
安全管理マニュアルに基づき、防災・防犯体制の確立	職員各自が園内の避難経路や役割分担を再確認して、安全に対する意識の向上に努める。所轄の消防署から適時に指導を受け、毎月の担当者が様々なケースを想定して避難訓練や防犯訓練の実施をする。地震、火災、風水害等の状況を予想し、マニュアル等の見直しをする。
駐車場整備について	今後どのように整備していくかの計画を立てて、保護者向けに発信して理解を得るようにしていく。

6. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの回収率が90%を超える高さは園と保護者の信頼関係の賜物と思う。 ・ほとんどの項目がAとB評価、極めて高い評価が得られている。過去の結果と比較するとわずかにA評価のポイントが下がっているのは、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者や地域との連携が図りにくいことも影響したと考えられる。 ・学校評価や自己評価をするにあたっての具体的な到達目標を決めて職員間で共有することが重要だと考える。それによって園の課題も見えてくる。 ・不審者・災害時への対応は園にとって最重要事項であり、関係機関との連携を密にし、訓練の実施やマニュアルの策定が必要である。

7. 財務状況

公認会計士や監査法人による監査により、適正に運営されている。
